


宮城県で就職した 外国人 留学生の先輩 働くイチ面

自分史上一番輝く今。
自分のキャリアや人生の
やりがいを見つめ、
多面的に進化する留学生の先輩。
職場で輝く、宮城県で就職した
先輩の仕事のイチ面に迫ります。

東北大学OB  アンテックス株式会社
ITソリューション部 システム開発ユニット 兼 海外準備室

ムハマド ハイリル アムリビン ナルザリさん

Profile

マレーシア出身。高校卒業後、母国の奨学金を活用し 2015 年に東北大学 工学部へ入学。2018 年にアンテックス株式会社のインターンシップに参加。代表取締役の三嶋さんと出会い、働き方・夢実現の可能性を感じ、2019 年 7 月に同社へ入社。IT ソリューション部 システム開発ユニット 兼 海外準備室に所属し、強みの語学力（英語、日本語、マレー語）を活かしアンテックス株式会社初の外国人スタッフとして活躍中。



社員同士笑顔が絶えないオフィス内。幅広い年齢のスタッフが所属し、和気あいあいとした雰囲気の中リラックスして業務に取り組める。

仕事 = 挑戦・進化

挑戦が大好き。仕事を通じて夢を実現したい

働く イチ面

アンテックス株式会社で初の留学生採用となったハイリさん。入社から約半年後の現在は、持ち前のチャレンジ精神と吸収力の速さを活かし奮闘中。語学力など社内からも頼られる存在に。

休日の イチ面

フットサルやサッカーが好きで、休日は体を動かしていることもあるそう。フットサルは会社のメンバーと集まって遊びに行くことも。マレーシアではあまりメジャーではない野球も、これを機に体験したいと話します。

現在の企業への 入社を決め手とは一

2018 年 2 月、DATEntre のプログラムで紹介されていたアンテックス株式会社にインターンシップとして約2週間お世話になったこと・代表取締役の三嶋さんの存在が入社の決め手でした。インターンシップを体験する中で自分がここで働くイメージが湧いたんです。三嶋さんの働く姿勢にも尊敬できる面がたくさんあり、この方から学びたいと思ったことも大きかったですね。インターンシップ後三嶋さんとお話を通じ、今後海外展開を考えているということをお聞きしました。いずれは自分で起業したいという夢があるので、ここでの海外展開に自身の語学力を活かせるのではないかと思います、プロジェクトへ参加させてもらいました。現場の仕事とは別に海外展開の打合せに同行させていただくなど、望むキャリアのことを考えてくださっており、この会社に入社して本当によかったなあと感じています。

現在の業務内容とは一

現在はシステム開発の IT ソリューション部に所属し、主に WEB システム開発のプロジェクトに参加しています。プログラミングを行い WEB システムを作るのが業務です。プログラミングは大学で得た知識の他に、現場では異なる分野の知識も必要になるため勉強も同時進行で奮闘しています。また、海外準備室にも所属し海外での事業展開を目指し、チーム一丸となって準備を進めています。三嶋さんとは所属部署は異なりますが、メンターとして月1回のヒアリングを通じてコミュニケーションを取り、キャリアアップについて相談を重ねています。

日本、宮城県での 就職を考えるようになった きっかけとは一

高校での成績が認められ国から奨学金のオファーがあったことがきっかけでした。留学先に4つの国が候補に上がっていたのですが、小さい頃からアニメなどの日本の文化に触れる機会があり日本を選びました。学校の先生からの勧め

もあり東北大学に入学を決め、初めて宮城県へ。マレーシアは暖かいところなので、初めは寒さに慣れるのが大変でした（笑）。仙台は自然と街中のバランスがよく住みやすい場所だと実感し、就職も県内をイメージするようになりましたね。



「働く環境」という点で、 母国との違いとは一

日本で働くようになり、大きく3つの気付きがありました。1つはビジネスシーンでの日本語と日常会話での日本語との違いですね。先輩社員に対する言葉遣いやお客様に対する言葉遣いなど、指摘をいただいていたこともたくさんありました。

2つ目は日本の文化や一般常識、暗黙の了解といった面ですね。例えば「気を遣う」という点でも、教えてもらって初めて気付く部分がありました。将来はこういう経験を活かして、日本に留学を考えている学生へのアドバイスや、自分の経験を本にして出版したり…そんな夢もあります。

3つ目は宗教との関係です。ムスリムのためお祈りの時間があるのですが、業務時間内に自分だけ宗教上の理由で席を立つことを遠慮してしまう場面もありました。自分にとって当たり前のことでも、周囲にとってそうでないことは伝えるのが難しいですね。そういう宗教的な文化の違いの一面にも、三嶋さんは「会社として受け入れるべき多様性。一緒に成長していこう」と話してくださいましたし、スタッフも理解のある方ばかりです。社内のニーズを汲み取り柔軟に変化していくアンテックスに感謝しています。

日本語を本格的に勉強を 始めたのはいつ頃から？

2015 年東北大学に入学する前に、マレーシアの日本語学校に1年半通い勉強していました。

大学時代も含めると約 5 年半日本語を勉強していた形になります。現在の自分の課題は「日本語での商談」です。ビジネスシーンでの日本語に慣れるため、先輩社員に同行させていただき現場でのやりとりなど日々勉強しています。自社や自社のサービスの魅力をお客様に伝えられるよう、上達していきたいです。

10 年先の自分は どうなっていたい？

理想はアンテックスの海外拠点の IT 事業で主戦力として活躍することです。特に成長が著しい東南アジアで自分の強みである語学力を生かし、様々な国の人々とビジネスパーソンとしてコミュニケーションをとり、結果を出せるような人間になりたいです。

宮城県のお気に入り Point

街中・自然どちらにもアクセスがよいところです。観光やお出かけをするにも、近隣にスポーツがあつて住みやすいところも気に入っています。実際に日本に住んでみて、雪や桜など初めて目にするものに感激して、マレーシアに住む家族に写真をシェアしたり、大学の卒業式に招待して一緒に花見に出かけた際には家族も感動してくれて。宮城に来てよかった!と思いました。

就職を考える後輩への アドバイス

何事にも興味・好奇心を持って取り組んでほしいです。留学生から見る日本の姿は固く厳しいイメージがあるとよく耳にしますが、日本の働く環境には理解があります。間違っても、安心して業務に慣れていけるように配慮してくれる柔軟な一面が魅力的ですよ。



一緒に働く仲間としての魅力

日々現場に溶け込もうと真剣に業務に邁進するハイリさん。将来的な夢をはっきりと掲げ行動できる人材は、国内外問わずとても貴重だと思います。自ら外に飛び出し持ち前のチャレンジ精神で成長している彼に、社内的にもプラスの刺激ももらっています。プロジェクトの拡大に伴い外国人スタッフ増員の構想もある中で、留学生が活躍できる会社を共に作り上げ、お互いに柔軟な姿勢で成長していきたいですね。今後も仲間として彼の活躍に期待しています。



アンテックス株式会社
代表取締役 三嶋 順さん